【R4】空き家実態調査を活用した使っていない家を市場に出すためのサポート体制及び所有者と利活用希望者とをつなぐシステムの構築

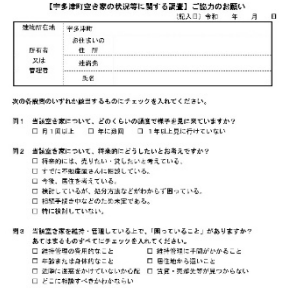
（一般社団法人空き家コミュニティ）

別添資料4

課題	「空き家サポートネットワーク」を設立し、空き家問題解決のための無料相談会を開催し対応してきたが、相談件数が少ない。相談から解決の途中で相談者の意欲が消えてしまい、空き家の情報が埋もれてしまっている。県の空き家バンク制度を利用しているが、経過把握やサポートが難しい。空き家の実態調査も行っているが、データ分析に留まっている。
目的	空き家の実態調査を活用して、空き家情報の把握、空き家の利活用の提案をするために、宇多津町独自の「登録制度」を作り、眠っている空き家情報を掘り起こし、短期間で利活用の提案をし、空き家の活用につなげる。
取組内容	①空き家実態調査を活用した空き家の掘り起こし②「活かせる空き家のマッチングシステム」の構築 ③出張空き家相談会の開催④「住まいの未来を考えるノート」の書き方セミナー開催⑤取組内容の公表
成果	○埋もれていた空き家情報、空き家候補、空き家の状態が把握ができた。 ○空き家所有者の意思確認が出来た。 ○マッチングシステムの「登録物件」を増やすことができた。 ○空き家所有者が自身の所有する空き家の今後について向き合う時間を持ち、空き家問題の再認識ができた。

●活かせる空き家のマッチングシステム
空き家所有者、利用希望者が安心して登録、利用できるシステムを宇多津町に「活かせる空き家のマッチングシステム」として設置。システム利用時には空き家サポートネットワークがサポートする。登録数は、利用希望者が3名、空き家所有者が2名の登録がある。

●空き家の調査表



この調査は、平成30年に宇多津町が実施した空家等実態調査で空家と認定された家屋を調査、令和4年2月に再調査を行い、すぐに利活用できそうな状態であると判断した空き家の所有者の方に送付しています。

【宇多津町空き家の状況等に関する調査】ご協力のお願い

（記入日）令和　年　月　日

建物所在地	宇多津町	
所有者 又は 管理者	自住まいの	住　所
		連絡先
		氏名

次の各質問のいずれか該当するものにチェックを入れてください。

問1　当該空き家について、どのくらいの頻度で現地を見に来ていますか？
□ 月1回以上　□ 年に数回　□ 1年以上前に行っていない

問2　当該空き家について、将来的にどうしたいとお考えですか？
□ 将来的には、売りたい・貸したいと考えている。
□ すでに不動産屋さんに相談している。
□ 今後、検討を考えている。
□ 検討しているが、処分方法などがわからず困っている。
□ 相続手続きやとりあえず保管である。
□ 特に検討していない。

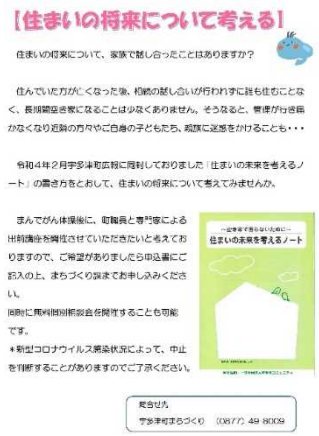
問3　当該空き家を維持・管理していると、「困っていること」がありますか？
あてはまるものすべてにチェックを入れてください。
□ 経年劣化の保守的なこと　□ 維持管理に手間がかかること
□ 年齢または体調的なこと　□ 個人的から遠いこと
□ 近隣に迷惑をかけていないか心配　□ 法令・規制文学が見つからない
□ どこに相談すべきかわからない

問4　宇多津町「活かせる空き家のマッチングシステム」（パンフレット同封）について
□ 空き家を登録したい。
□ 検討がある。
□ 登録できるかどうか確認してほしい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

●空き家の無料相談会

●活かせる空き家の掘り起こしのための実態調査



●出前講座